事務事業評価表

平成14年度	主要事	交画信業	象の有無	無 無 ▼		電話 042 (742) 6481	
担当部課名	管理部			学校保健	課 ▼	南部学校給	食セ	ンター	
事務事業名	配送委託	·費				事業コード		14121	
1 総合計画における									
政策名	第一	4 章		人間性豊かな子	どもを育成し	ょす		事業開始年	-度
基本施策名	第	1 節		ゆとりある気	学校教育の創	造		~ 63 🔻 🕏	年度
施策名	第二	2 施策		小・中学権	交教育の充実			00 🔻	十戊
2 実施根拠及び関連法令等									
学校給食施設、設備整備方針、文部省「学校給食衛生管理の基準」(平成9年4月1日)									

3 事業概要

(1)事業の目的		(2)対象(誰、何)
給食センターから対象校(6校)へ給食配送を実施する。		小学校6校(大野台、相 武台、上鶴間、鶴の台、 大沼、桜台)の児童・教
(3) 平成13年度事業の内容	「(4)総合計画・実施計画にa	対象 3623人 数 8はる概要
給食センターから対象校 6 校へ給食及び食器を配送し、給食後、使用済みの食器及び食べ残しの回収を行った。 通常@22,200円×3台/1日×184回、センターで炊飯を行うときには、他に@22,200円×1台×56回13年度決算見込額 14,009,310円	なし	717 0 1963
	(5)個別計画の概要 計画名 計画年次 年度	夏~ 年度

4 評価指標

DI 1m1D.19		
指標名	給食の配送	
指標式	給食数 / 児童・教職員数	
指標設定 の意図		

5 目標と実績 〔金額単位:千円〕

,	口信し大浪		_					・「立領半心・十つ」	
平成11年度		平成11年度	平成12年度 平成13年度(訂			平価文	対象年度)	平成14年度	
		実績	実績		実績		目 標	目標	
	指標	100	100	а	100	b	100	100	
	指標			ပ		đ			
	指標			е		f			
_	決算 (予算)額	15,190	14,030		14,010		14,010	14,045	
事	人員・時間数	52 H	52 H		52 H		52 H	52 H	
業	人 件 費	218	213		218		218	218	
赤費	その他経費							0	
	合 計	15,408	14,243		14,228		14,228	14,263	
	特定財源								

6 個別評		+					
	き・・・目標をどれだけi			Г			
評価	A:達成している	•	100%)		O 111 14	·/±	400.0%
A ▼	- H-70-7-70 - 11-11	•	> 80%)	= ,	、の平均]1世 =	100.0%
	C:達成していない	(80%>)				Ι .
<u>a</u> b	$\frac{100.0}{100.0}$ × 100:	= 100.0%	d		−× 100=		e x 100=
D	100.0		u				I
理由:							
	t・・・時代変化に適応						
評価	A:適応している		自校調理	施設がないた	め、必要で	である。	
_A _▼	B:一部適応していない C:適応していない	1					
(3) 探洛州	ic:過心していない i・効率性・・・費用対象	中国は扱う	<u>ዛ</u> ታ\				
	E <u> </u>			の給食を、安全	全に迅速に	提供す	するためには、専用車でプロのドライバ・
	B:一部妥当でない	_ ~		ることは妥当で		- 3/4 /	, a.c.s.(c.)(1,1)1+() 1 (s.)(1,5)(1,5)
	C : 妥当でない]					
)代替性・・・県、民間					ていく	ことが適当か
評価	A:代替の可能性ない		配送業務	は委託をして	いる。		
A 🔻	B:代替の可能性低い C:代替の可能性高い						
(5)市民清	C・ (音の可能性高に 		らわてい	ス か			
評価	A:満足できる			に間に合うよう	に届けてい	13	
	B: 一部満足できない					10,	
.	C:満足できない						
	t・・・・当該事業は上位						
	A:有効である	_ 理由:			時間を持つ	つために	こは、安全に決められた時間までに配う
A ▼	B:一部有効である		することは	は有効である。			
	C:有効でない				成果向上	の会地	
評価バ	IJJAJ Y T I	達成度			<u> </u>		, 説明:
	A	$\uparrow \searrow$			□ あ		委託費の減額
	B	ļ \				•	
	有効性		必要性			l l	
	C	† /					
						: \JIL	
					コスト改善		説明:
		†			┌──あ		(1) 1
	市民満足度	1	経済性	·効率性	∐ യ	•	年より低く契約した。
	\					11	
	À	+					
	事業	の代替性					
7 総合評(西						
	AAA ▼						
評価	AAA •	他自治					
計順		体の類 似事業					
		との比					
今	後の進め方	較					
_	継続						
N N	rice and		出来立て	の給食を、安全	全に迅速に	提供す	するためには、専用車でプロのドライバ・
	見直し		が配送す	ることが望まし	· ι ι.		
		** **					
	廃止	説明					
	完 了						
0 一次标准	ffiにおける変更点 ■における変更点						